

# 「教育全国署名提出院内集会」開催

## 公立と合わせて335万4239筆を提出

### 「教育の無償化が国民の要求、教育予算の抜本拡充を」

3月3日(金)、衆議院第2議員会館にて、教育全国署名提出院内集会在開催されました。立憲民主党、共産党の8名の国会議員があいさつし、私学と公立合わせて335万筆の署名を提出しました。

署名を届けた「すすめる会」の人たちと、紹介議員となった国会議員の人たち=3日、衆議院第2議員会館



## ゆきとどいた教育を

### すすめる会 署名335万人分提出

ゆきとどいた教育をすすめる会は3日、衆議院第2議員会館で、国の責任による少人数学級の前進や教育無償化、教育条件の改善などを求める「ゆきとどいた教育を求める全国署名」の提出集会を行いました。提出した署名は、全国私学助成をすすめる会が集めた「私学助成全国署名」280万33232人分と合わせて、335万4239人分です。

### 「無償化が国民の要求」

あいさつした全教の言は子どもを産んだら宮下直樹委員長は、物奨学金の返済を減免するという筋違いなもの。教育予算の抜本拡充こそ必要だ」と訴えおりました。東京都教職員組合のきな要求になっていると訴え、大友育子副委員長は、

東京都が導入した英語スピーキングテストについて、「都は反対の声に耳を貸さずともしない。教育の私物化を許さず、人を大切にすることをすすめるたい」と語りました。

私学助成をすすめる会の眞養眞希事務局長は、政府は少子化対策に本気で取り組むというなら教育無償化を実現すべきだと指摘し、「軍事費ではなく教育費の増額こそ必要だ。今ほこの署名が生きるべきはない」と話しました。日本共産党の宮本岳志、宮本徹而衆院議員、吉良よし子参院議員、立憲民主党の国会議員があいさつしました。

3月6日時点で

私学助成全国署名:281万3860筆

紹介議員:214人(実人数202人)

1筆でも、1名でも上乗せを  
報告は3月末までに  
最後まで奮闘を！